

『日本史を動かした久良岐の村々

江戸時代後期 最戸村の知られざる実像』

(2013/11/16 講演要旨)

港南歴史協議会 陶山 誠

1. かつて武蔵国久良岐(くらき)郡には、多々久郷と呼ばれた最戸村・久保村(以上港南区)・弘明寺村・中里村(以上南区)や、日野郷と呼ばれた金井村(港南区)等がありました。

多々久郷の4か村(以下、最戸4か村という)は江戸幕府の儒学の最高権威である林大学頭が主宰する湯島聖堂領*に属し、日野郷の金井村は旗本 久世氏の知行地でした。それらの小さな村々が日本の歴史とどう係わったかというのが、この話しのテーマです。

*湯島聖堂=5代将軍綱吉が、元禄4(1691)年、儒学振興のため江戸湯島の地に大成殿(孔子廟)を建て、儒者の林家が祀っていた孔子像をここに移し、林家の塾舎・文庫等を併設したもの。

2. 話しは天明5(1785)年、その最戸4か村が林家から突如、年貢先納金50両を命じられたことに始まります。

*先納金(せんのうきん)=年貢として納期前に納めるお金。村側に余裕金がなければ、どこからか借金してでも領主に納め、後で借金は年貢によって精算する。実質的に領主の借金である。

折しも天明の飢饉の真最中、金の調達に困った最戸4か村は、近隣の金井村 林右衛門からなんとか50両を借り受け、林家に上納しました。

翌年の年貢米で返済する約束でしたが、翌天明6年は大凶作。困窮を見かねた林右衛門は、返済期限を1年延長しました。ところが翌天明7年になると、最戸4か村側は、林家が年貢を全納せよと命令してきたので借金の返済はできないと言うのです。

3. 頭にきた金井村 林右衛門は幕府評定所に出訴。頭にきたのは訴えられた最戸4か村側とて同じこと。年貢先納金は実質的に林家の借金なのに、林家は年貢の全納を命じて村の借金を踏み倒し、年貢の二重取りを目論んだからです。

最戸4か村側は、この訴訟を通じて林家の理不尽な命令を撤回させるため原告の林右衛門とタイアップし、年貢米を林家に送ることをストップしたようです。

村の古文書に残る事件の経緯はここまでで、その結末についての史料はありません。しかし、その後天明8(1788)年～寛政9(1797)年の日本の歴史をヒモ解けば、その結果は自ずと明かになります。

4. 元々聖堂領からの年貢は、五代将軍綱吉が、湯島聖堂の孔子像を祀る費用として用途を限定して林家に与えたもので、林家の家禄とは別扱いのものでした。その頃、林家は財政的に台所が火の車になっており、ヒモ付きの聖堂領年貢にツイツイ手を付けてしまい、最戸4か村に先納金命令と年貢全納命令を出したのです。その結果、林家は聖堂領年貢を家計へ流用していたこと(公私混同)が、この訴訟でバレたのです。

また運の悪いことに、原告金井村林右衛門の領主久世下野守広民は、「寛政の改革」に取り組む松平定信(老中首座)の側近勘定奉行として、幕府評定所の有力メンバーでしたから、サア大変。その久世氏から報告を聞いた定信は、幕府教学の最高権威である林大学頭にあるまじき行為だとして、林家の肅正と聖堂の学制改革に踏み切りました。

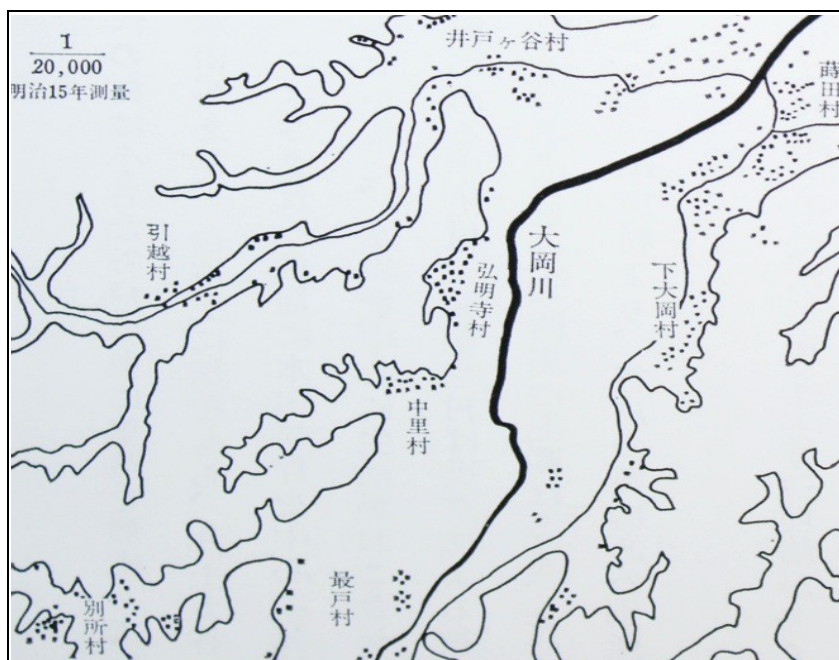
5. その具体的な改革内容とは、i)林家内で新規の学(異学)を説く者がおり、林家は本来の職務である朱子学(正学)を講究すべきこと(異学の禁、寛政2年)、ii)定信の息がかかった養子を林家に送り込み大学頭に任命(林述斎、寛政5年)、iii)聖堂にある林家の家塾を幕府直轄の「昌平坂学問所」に改編(寛政9年)、iv)聖堂領を林家から剥奪し、幕府直轄の「学問所領」とすること(寛政9年)等です。

大学頭 林述斎(8代)は幕府の方針を忠実に遂行し、後に林家中興の祖となりました。

6. 明治2年、昌平坂学問所は「大学校」となり、幕府天文方を前身とする「開成学校」と種痘所を前身とする「医学校」を統合して後の「東京大学」へと連なって行きます。「大学校」そのものは明治4年に廃止されますが、その跡地には文部省博物館や東京高等師範学校等が設置され、後の東京国立博物館と国立科学博物館、東京教育大学とお茶の水女子大学の源流となりました。

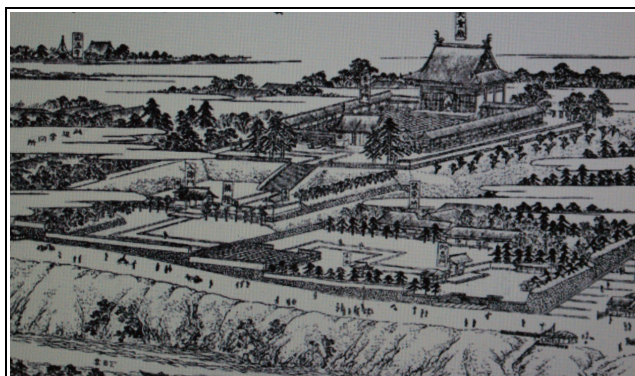
7. このようにして久良岐郡の小さな村々の勇氣ある行動は、一波が万波を呼ぶ形となって日本の歴史を大きく揺り動かし、湯島聖堂の地を近代日本の文教発祥の地とする大きなインパクトになったのです。

私達港南区民は、このことを大いに誇ってよいのではないのでしょうか。(完)



左上図：
[久良岐郡 多々々の村々]
(「南区の歴史」より)

左下図：
[湯島聖堂]
(「江戸名所図絵」より)



(主要参考文献)

- ・「神奈川県史」通史編3近世(2)・「横浜市史」第1巻
- ・「港南の歴史」港南の歴史発刊実行委員会 ・「聖堂領の村々」「史料が語る神奈川の歴史60話」所収 三省堂発行
- ・「南区の歴史」南区の歴史発刊実行委員会 ・「寛政異学の禁と聖堂領」奥田晴樹 (日本史研究第243号所収)
- ・「聖堂物語」斯文會発行 ・「港南の歴史アルバム2 街づくりの歴史物語」港南歴史協議会編